

はじめに

「なにかおすすめの本ありませんか？」と、図書館では、たくさんの子どもやおとなから読書相談を受けます。人によって読書体験や興味の対象はさまざまなので、その場合は、図書館員が色々とお話を伺いながら、ぴったりの本をご案内するよう努めています。一緒に本を開いてみたり、どんな内容かを伝えて紹介することで、その人と作品との距離が、ぐっと近づくのを実感します。さらに、子どもにとっては、身近なおとなが、本の魅力を伝えたり、一緒に読んだりすることで、本の世界が、より身近なものとなることでしょう。子どももおとなも、共に本を楽しむ時間を持っていただけたらと思います。

この冊子は、2005年初版の「であってみたいこんな本～読みもの・その他」を改訂したものです。この15年間で新たに出版された本なども加えるとともに、全体的な見直しを行いました。図書館の展示コーナーや、おはなしの会で、紹介している作品を中心に掲載しています。お気に入りの一冊と出会うきっかけになれば幸いです。

2019年4月 芦屋市立図書館

目次

○はじめに	1ページ
○絵本から読みものへ	3ページ
○物語の本	14ページ
○昔話の本	35ページ
○神話の本	39ページ
○詩の本	40ページ
○自然科学の本	42ページ

凡例

- 1 このリストは、2005年初版の「であってみたいな、こんな本～読みもの・その他～」を改訂したものです。
- 2 このリストに掲載されている本は、2019年現在絶版のものもありますが、芦屋市立図書館には所蔵されています。
- 3 作品は、「絵本から読みものへ」「物語の本」「昔話の本」「神話の本」「詩の本」「自然科学の本」のテーマ別に掲載しています。
- 4 対象年齢については、以下のように表示しています。
(あくまでも目安です。)
●小学校低学年向き 小低 ●小学校中学年向き 小中
●小学校高学年向き 小高 ●中学生向き 中
- 5 各テーマの中で、書名の五十音順に配列しています。
- 6 各作品の記載事項は、書名、作者名、画家名、訳者名、出版社名、内容の順に掲載しています。表記は現物表記に倣っていますが、平仮名は漢字に統一しています。(例: いいものこ 訳 → 石井桃子 訳)
- 7 復刊などの事情から、複数の出版社から出版されている場合は併記しています。

えほん よ
・ ・ ・ 絵本から読みものへ ・ ・ ・

ストーリー性のある絵本と、絵本の次に読むのにおすすめの読みものを
ちゅうしん しょうかい じぶん よ よ き
中心に、紹介しています。まだ自分で読めない人も、読んでもらって聞
くことで、^{たの}楽しむことができます。

ちい
「あたまをつかった小さなおばあさん」 小低・小中

ホープ・ニューウェル 作 山脇百合子 画 松岡享子 訳 (福音館書店)

ちい きいろ いえ す ちい
小さな黄色い家に住む小さなおばあさんは、び
んぼうでしたが、とても上手に ^{じょうず あたま} 頭をつかって、な
んでも ^{かいけつ} 解決してしまいます。ねずみからとうもろ
こしを ^{まも} 守ったおはなしなど、^{たの} 楽しいお ^{はなし} 話 ^{べん} が 8 編
^{はい} 入っています。



うみ
「海へのあさ」 小低・小中

ロバート・マックロスキー 文・絵 石井桃子 訳 (岩波書店)

かぞく しま く
サリーは家族といっしょに島で暮らしています。
ある朝、^{あさ め} 目をさますと、^{は ほん} 歯が 1 本ぬけかかっている
ことに ^き 気づきます。サリーは、うれしくなって、
かぞく うみ どうぶつ ^は は
家族や海への動物たちに、「歯がぬけかかっている
の」とふれまわりますが……。



えほん
「絵本グレイ・ラビットのおはなし」 小低・小中

アリソン・アトリー 作 マーガレット・テンペスト 絵
石井桃子, 中川李枝子 訳 (岩波書店)

もり ちい いえ ところ
森のはずれの小さい家に、はたらきもので心や
さしいグレイ・ラビットと、うぬぼれやの野ウサギ・
ヘアと、いばりやのリス・スキレルが住んでいまし
た。自然の中での暮らしや、はらはらしたぼうけん
が描かれています。



「エルマーのぼうけん」 小低・小中

ルース・スタイルス・ガネット 作 ルース・クリスマン・ガネット 絵
渡辺茂男 訳 (福音館書店)

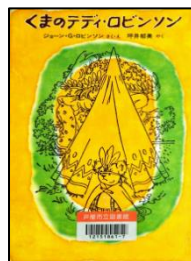
ある日、エルマーは、年とったねこから、りゅう
の子の話 を聞きます。そして、とらわれているりゅう
の子を救うため、どうぶつ島へ向かいますが……。
続編に「エルマーとりゅう」「エルマーと16ぴきの
りゅう」があります。



「くまのテディ・ロビンソン」 小低・小中

ジョン・G・ロビンソン 作・絵
坪井郁美 訳（福音館書店）

くまのテディ・ロビンソンは、デボラのお氣に入りのぬいぐるみです。ふたりは大のなかよしで、どこに行くにもいつもいっしょです。そんなテディ・ロビンソンが、庭で野宿したり、おまつりにいくお話が7編入っています。



「けしつぶクッキー」 小低

マージェリー・クラーク 作 モウドとミスカ・ピーターシャム 絵
渡辺茂男 訳（ペンギン社／童話館出版）

ある朝、アンドルーシクは、おばさんから留守のあいだ「けしつぶクッキー」の見張り番をたのまれます。ところが、アンドルーシクは、おばさんのいうことを聞かずに、ふかふかの羽ぶとんの上で、とびはねて遊びはじめます。すると、玄関からへんな鳴き声が聞こえてきて……。8編の楽しいお話が入っています。



「こぎつねルーファスのぼうけん」 小低・小中

アリソン・アトリー 作 キャサリン・ウィグルズワース 絵
石井桃子 訳（岩波書店）

みなしごのこぎつねルーファスは、アナグマさん
いっか 一 家といっしょに暮らすことになります。アナグマさ
んの子どもたちにも、きょうだいとして迎えられ、楽
しく過ごします。ある日、ルーファスは、大ギツネの
わるいおじさんから白鳥を助けますが……。続編
に「こぎつねルーファスとシンデレラ」があります。



「こぐまのくまくん」 小低

E. H. ミナリック 文 モーリス・センダック 絵 松岡享子 訳
（福音館書店）

ある日、こぐまのくまくんは、何か身につけるも
のが欲しいとお母さんにねだります。お母さんは、
ぼうしやコートやズボンを作ってくれましたが、く
まくんはまだ寒いといってききません。そこでお母
さんは……。くまくんの楽しいお話が4編入って
います。シリーズに「かえってきたおとうさん」「く
まくんのおともだち」「だいじなとどけもの」「おじ
いちゃんとおばあちゃん」があります。



「すえっ子^こ〇ちゃん」 **小低・小中**

エディット・ウンネルスタード 作 ルイス・スロポドキン 絵
下村隆一，石井桃子 訳（フェリシモ出版／学習研究社）

〇ちゃん^{オー}は7人^{にん}きょうだいのすえっ子^こで5歳^{さい}です。お兄^{にい}ちゃんやお姉^{ねえ}ちゃんがやることは、自分^{じぶん}もやってみ^とたいお年^{とし}ごろです。飼い^かネコ^かを赤^{あか}ちゃん^{あか}に見^みたてて乳^う母^ぼ車^{くるま}に乗^のせたり，当^あてず^あっぽう^あに見^しられない人^{ひと}に電話^{でんわ}を^とかけて^とみたり……おま^{オー}せな〇ちゃん^こがま^まきお^おこす^こす^すユー^えモ^えラス^らな^な出^で来^き事^{こと}が^え描^えか^がれて^てい^いま^ます。



「空^{そら}とぶ船^{ふね}と世界^{せかい}一の^{いち}ばか」 **小低・小中**

アーサー・ランサム 文 ユリー・シュルヴィッツ 絵
神宮輝夫 訳（岩波書店）

「空^{そら}とぶ船^{ふね}をも^もつて^つきた^たもの^のは，王^{おう}女^{じょ}と結^け婚^{こん}させて^てやる」とい^いう王^{おう}さま^のおふれ^をを^きいて，旅^{たび}に^に出^でた^たばか^のむすこ^はは，ふし^ふし^しぎ^ぎな^なおじ^おい^いさ^さん^んの^の助^{たす}け^けで，空^{そら}とぶ船^{ふね}を^て手^てに^いれ^いま^ます。ばか^ばむ^むす^すこ^こは，は^はや^やあ^あし^し，大^{おお}食^くい^い，き^きき^き耳^{みみ}な^など^ど，ふ^ふし^しぎ^ぎな^な能^の力^{りき}を^もつ^つた^た7^な人^{ひと}と一^{いっ}しょ^{しょ}に^に，王^{おう}さま^のお城^{しろ}に^にの^のり^りこ^こん^んで^でい^いき^きま^ます^すが……。



「たんだのたんけん」小低

中川李枝子 作 山脇百合子 絵 (学習研究社)

5歳さいのたんじょうび日ちす、たんだのもとちすに、地図ちすが
入はいった手紙てがみが送おくられてきます。たんだが、その地図ちす
をもしゅって出つ発ぱつすると、ひょうの子こ・バリヒてと出会であ
い、2人ふたりはいっしょいっしょにたんけんたんけんに出でかけることにし
まぞくす。続編ぞくへんに「たんだのたんてい」があります。



「チム・ラビットのぼうけん」小低

アリソン・アトリー 作 中川宗弥 画
石井桃子 訳 (童心社)

こうさぎこうさぎのチム・ラビットチム・ラビットは、お父とうさんお母かあさ
んといっしょいっしょに草くさかり場ばに住すんでいます。見みつけた
ハサミハサミでいたずらいたずらをしたり、雨あめの日ひに見みつけたキノ
コキノコをかさがわりにししたり……。森もりの中なかで、元げん気きで
ゆうかんゆうかんなチムチムがくひろひろげるお話はなしが、9編へん入はいって
まぞくす。続編ぞくへんに「チム・ラビットのおともだち」が
あ
りまぞくす。



「なぞなぞのすきな女の子」小低

松岡享子 作 大社玲子 絵（学習研究社）

なぞなぞのすきな女の子が、自分となぞなぞあそびをしてくれる人をさがしに森に出かけると、はらぺこのおおかみと出会ってしまいます。女の子はなぞなぞを出して、おおかみが答えを考えている間に逃げてしまいますが……。



「番ねずみのヤカちゃん」小低

リチャード・ウィルバー 作 大社玲子 絵
松岡享子 訳（福音館書店）

ある家の壁のすきまに、母さんねずみと子ねずみが4匹、家主に気づかれないように、静かに暮らしていました。ところが、ある晩、末っ子ねずみのヤカちゃんの出す大声のせいで、家の人に気づかれてしまい……。



「ふしぎな500のぼうし」小低

ドクター・スース 作・絵 渡辺茂男 訳（偕成社）

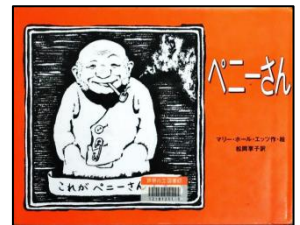
ある日、バーソロミュー少年が、お気に入りの
ぼうしをかぶって町へ行くと、王さまの行列と
出会います。王さまから「ぼうしをとれ！」と言わ
れて、そのとおりにしますが、頭の上には取っ
ても取っても、同じぼうしが現れます。



「ペニーさん」小低・小中

マリー・ホール・エッツ 作・絵 松岡享子 訳（徳間書店）

あるところに、ペニーさんという男の人がいま
した。ペニーさんは、こわれかけた小屋で、動物
たちと楽しく暮らしていました。ところがある日、
動物たちがおとなりの畑をあらしてしまい、ペ
ニーさんがその後始末をすることになってしまいま
す。続編に「ペニーさんと動物家族」「ペニーさん
のサーカス」があります。



「マイケルとスーザンは一年生」小低

ドロシー・マリノ 作・絵 間崎ルリ子 訳（アリス館）

もうすぐ1年生になるマイケルとスーザン。2人は、マイケルのたんじょう日パーティーで出会い、同じ学校に行くことがわかって、友だちになります。たんじょう日やはじめて学校に行く時の様子が、マイケルとスーザンそれぞれの目線から描かれています。



「みしのたくかにと」小低・小中

松岡享子 作 大社玲子 絵（こぐま社）

ある日、ふとっちょおばさんは、台所で見つけた種を庭にまくことにしました。ところが、それは何の種なのかわかりません。そこでおばさんは、種をまいたあと、こんな立て札をたてました。「あさがおかもしれない、すいかかもしれない、とにかくたのしみ」。その立て札を見た王子が……。



「ミリー・モリー・マンデーのおはなし」小低・小中

ジョイス・L・プリスリー 作 菊池恭子 絵

上條由美子 訳（福音館書店）

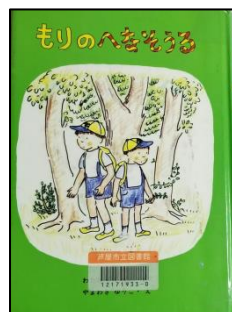
ミリー・モリー・マンデーは、みじかい髪^{かみ}、みじ
かい足^{あし}に、みじかい服^{ふく}を着^きた元気な女^{おんな}の子。家族
に頼^{たの}まれたおつかいをしたり、大人^{おとな}みたいにお
みせばん^{みせばん}をしたり……。12編のお話^{へん}が^{はなし}入^{はい}っていま
す。続編^{ぞくへん}に「ミリー・モリー・マンデーとともだ
ち」があります。



「もりのへなそうる」小低

渡辺茂男 作 山脇百合子 絵（福音館書店）

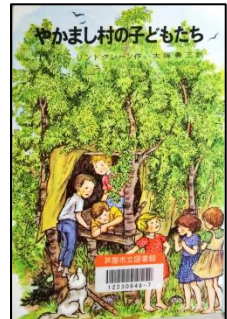
てつたくん、みつやくんの兄^{きょうだい}弟^{もり}は、森^{たんけん}へ探検に
で^でお^おお^おた^{たまご}み^みつ^{つぎ}ひ^ひたま^{たまご}
出^でかけて、大きな卵^{たまご}を見つめます。次の日、卵^{たまご}
のあつたところ^{もど}に戻^{もど}ってみると、そこにはかいじゅ
う^{どうぶつ}のような動物「へなそうる」がいました。2人
とへなそうるは仲良^{なかよ}くなり、いっしょ^{あそ}に遊^{あそ}びます。



「やかまし村の子どもたち」小低・小中

アストリッド・リンドグレン 作 イロン・ヴィークランド 絵
大塚勇三 訳 (岩波書店)

「やかまし村」はスウェーデンの田舎にある、とても小さな村。そこに住む、リーサ、ラッセ、ボッセ、オッレ、ブリッタ、アンナたちの暮らしが、明るく生き生きと描かれています。「たんじょうび」「犬をかう」「クリスマス」など身近なお話がたくさん入っています。同じシリーズに「やかまし村の春・夏・秋・冬」「やかまし村はいつもにぎやか」があります。



・・・物語の本・・・

みちか はなし ほうけんものがたり れきししょうせつ
身近なお話，ファンタジー，冒険物語，歴史小説など，さまざま
お話を紹介します。お気に入りの1冊を見つけてください。

「運命の騎士」小高・中

ローズマリ・サトクリフ 作 チャールズ・キーピング 絵
猪熊葉子 訳（岩波書店）

11世紀のブリテン島，犬飼いの孤児^{こじ}ランドルは，
ふとしたことから騎士^{きし}ダグイヨンの孫・ベービスの
^{こしょう}小姓として育てられることになります。2人は，
^{みんぞく}民族や身分を超えて友情を^こ育^{はぐく}み，共に戦士として
成長していきますが，戦いの中で思いも寄らぬ
^{うんめい}運命が待ちうけていて……。さまざま^{みんぞく}民族が共存^{きょうぞん}
した，当時のブリテン島の人々の息づかいをも感じ
させてくれる作品です。



おお もり ちい いえ
「大きな森の小さな家」 小中・小高

ローラ・インガルス・ワイルダー 作 ガース・ウィリアムズ 絵
恩地三保子 訳（福音館書店）

北アメリカの開拓時代、5歳の少女ローラは
家族と共に、大きな森にやってきます。きびしい
自然にさらされながら、ローラの家族は家を見て、
パンやバターやチーズを作り、自分たちの手で森で
の生活を営みます。インガルス一家の物語には、
この他に「大草原の小さな家」「ブラム・クリーク
の土手で」「シルバー・レイクの岸辺で」「農場の
少年」があります。



おお
「大どろぼうホッツェンプロッツ」 小中・小高

オトフリート・プロイスラー 作 フランツ・ヨーゼフ・トリップ 絵
中村浩三 訳（偕成社）

ガスパールは、おばあさんのぬすまれたコーヒー
ひきを取りもどすため、犯人・ホッツェンプロ
ツと対決します。続編に、「大どろぼうホッツェ
ンプロッツふたたびあらわる」「大どろぼうホッツェ
ンプロッツ三たびあらわる」があります。



かげ たたか せんき
「影との戦い」ゲド戦記Ⅰ 小高・中

アーシュラ・K. ル＝グウィン 作 ルース・ロピンス 絵
清水真砂子 訳（岩波書店）

見習い魔法使いのゲドは、禁じられていた魔法を使い、自分の「影」を呼び出してしまいます。「影」の存在におびえながらも、ゲドは正面から対決する道を選びます。続編に「こわれた腕輪」「さいはての島へ」「帰還」「アースシーの風」「ゲド戦記外伝」があります。



かぜ
「風にのってきたメアリー・ポピンス」 小中・小高

P. L. トラヴァース 作 メアリー・シェパード 絵
林容吉 訳（岩波書店）

東風のふく日に、バンクス家の4人の子どもたちのお世話係としてやってきたメアリー・ポピンス。子どもたちは、彼女の身の周りでは、魔法がかった不思議な体験をします。からっぽのはずのバッグからたくさんものを取り出したり、おとなりの犬と話ができたり……。様々なことが起こります。続編もあります。



「がんばれヘンリーくん」小中

ベバリイ・クリアリー 作 ルイス・ダーリング 絵
松岡享子 訳（学習研究社）

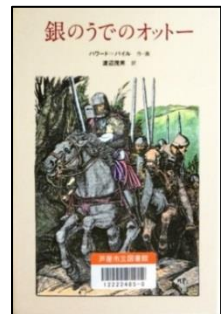
小学3年生のヘンリーは、ある水曜日、町かどでやせこけた犬と出会います。あばら^{ほね}骨がすけてみえることから「アバラー」と名づけ、こっそりバスに乗せて、家まで連れて帰ろうとしますが、とちゅうでアバラーがあばれだしてしまい……。他にも、ヘンリーくんのまわりでは、ゆかいな事件^{じけん}がつぎつぎと起こります。ヘンリーくんシリーズ1作目。



「銀のうでのオットー」小高・中

ハワード・パイル 作・画 渡辺茂男 訳
（偕成社／童話館出版）

中世ドイツ・暗黒時代を舞台にした歴史小説。
男^{だんしゃく}爵の一人息子として生まれたオットーは、生後まもなく母を失い、平穩な僧院^{へいおん そういん}で育てられます。成長^{やかた}して、館^まに戻った彼が、目の当りにしたのは、僧院^{そういん}とは真逆^{まぎやく}の殺戮^{さつりく}と略奪^{りやくだつ}の世界で、父がたくさんの人を殺してきた現実を知り、悲しみます。ある日、オットーは、父の留守中に、父の敵^{てき}に連れ去られてしまい……。



「くまのプーさん プー横丁にたった家」小中・小高

A. A. ミルン 作 E. H. シェパード 絵
石井桃子 訳（岩波書店）

気がよくて、ちょっと間の抜けているクマのプー。
食べすぎてウサギの穴の入り口にお腹をつまらせてし
まう話など、親友コブタ、ウサギ、何でも知っている
フクロ、ロバのイーヨーといった、森の仲間たちと繰り
ひろげる楽しいお話が、多数収録されています。



「くらやみ城の冒険」小中・小高

マージェリー・シャープ 作 ガース・ウィリアムズ 絵
渡辺茂男 訳（岩波書店）

ねずみたちによる世界的組織「囚人友の会」は、
ノルウェーの詩人を監獄から救出する計画をたて
ます。その任務は、美しい貴婦人ねずみのピアンカが
引き受けることになり、詩人が閉じこめられている「く
らやみ城」へ向かいますが……。ミス・ピアンカシリ
ーズには、「ダイヤモンド館の冒険」「ひみつの塔の冒険」
「地下の湖の冒険」「オリエントの冒険」「南極の
冒険」「さいごの冒険」があります。



「クローディアの^{ひみつ}秘密」小高・中

E. L. カニグズバーグ 作・絵 松永ふみ子 訳
(岩波書店)

ある日のこと、少女クローディアは弟を^{さそ}誘って、
家出します。^{ちゅういふか}注意深く計画した結果、決めた行き
先は、ニューヨークのメトロポリタン^{びじゅつかん}美術館。そ
こに^{とくべつてんじ}特別展示されていた天使の^{そう}像の^となぞ解きに2
人は引きこまれて……。



「グリーン・ノウの^こ子どもたち」小高・中

ルーシー・M・ポストン 作 ピーター・ポストン 絵
亀井俊介 訳 (評論社)

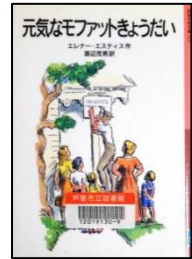
7歳^{さい}の男の子・トーリーは、冬休みにグリーン・
ノウという^{やしき}お屋敷に住む大おばあさんをたずねま
す。やさしく、時にいたずらっぽい大おばあさんと
^す過ごすうち、トーリーの心は^{よろこ}喜びで満たされてい
きます。そんなある日、トーリーは自分の^{そば}すぐ側に
子どもたちの^{けはい}気配を感じます。続編に「グリーン・
ノウの^{えんとつ}煙突」「グリーン・ノウの川」「グリーン・
ノウのお^{きやく}客さま」「グリーン・ノウの^{まじよ}魔女」「グリーン
・ノウの石」があります。



げんき
「元気なモファットきょうだい」 **小中・小高**

エレナー・エステイス 作 ルイス・スロボドキン 絵
渡辺茂男 訳（岩波書店）

モファット家の4人きょうだい（シルビー、ジョーイ、ジェーン、ルーファス）は、母親と一緒に仲良く暮らしていました。ところが、長年住み慣れた家が売りに出されることになり、みんなは気が気ではありません。続編に「ジェーンはまんなかさん」「すえっ子のルーファス」「モファット博物館」があります。



たいよう せんし
「太陽の戦士」 **小高・中**

ローズマリ・サトクリフ 作 チャールズ・キーピング 絵
猪熊葉子 訳（岩波書店）

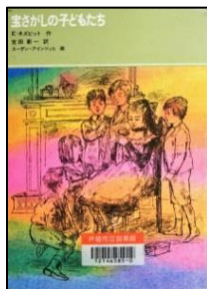
せいどうきじだい みぎうで
青銅器時代のブリテン。右腕が不自由な少年・ドレムは一人前の戦士となるため、槍の稽古に励みますが、オオカミ殺しの試練に失敗し、戦士となる道を絶たれてしまいます。少年がさまざまな障害を乗り越え、成長していく姿を力強く描いた作品です。



「宝^{たから}さがしの子どもたち」小高・中

イディス・ネズビット 作 スーザン・アインツィヒ 絵
吉田新一 訳（福音館書店）

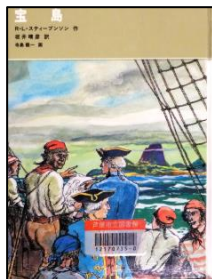
バスタブル家の子どもたち、ドラ、オズワルド、
ディッキー、アリス、ノエル、H.Oは、苦しい家計
を助けるために、宝物を掘り出すという計画をたて
ます。作業の途^{とちゅう}中で知り合いのアルバート^{あな}にも穴
ほ^ほ掘りを手伝わせたところ、トンネルの天井がつぶれ
て、大騒^{おおさわ}ぎになってしまいます。



「宝島」小高・中

R. L. スティーヴンソン 作 寺島龍一 画
坂井晴彦 訳（福音館書店）

宿屋の息子、ジムは「船長^と」という泊まり客の残
した地図をもとに、地主^{じぬし}のトリローニさん、医者
のリブジー先生と一緒に宝島へ向かいます。ところ
が、コックとして同じ船に乗っていたジョン・シル
バー^{かいぞく}が海賊^{かいぞく}だったとわかり、事態は急^{じたい}変^{きゅうへん}します。



「たのしい川べ」^{かわ} 小高・中

ケネス・グレアム 作 E. H. シェパード 絵
石井桃子 訳（岩波書店）

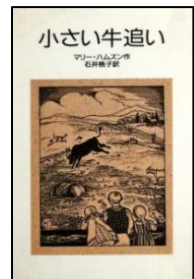
イギリスの田舎^{いなか}を舞台^{ぶたい}に、人のよいモグラ、行動
的なネズミ、わがまま^{にく}だけれど、どこか憎めないヒ
キガエルをはじめ、川べの生きものたちが活躍^{かつやく}
する物語。



「小さい牛追い」^{ちい} 小中・小高^{うしお}

マリー・ハムズン 作 エルザ・ジェム 絵
石井桃子 訳（岩波書店）

ノルウェイのラングリュード農場^{のうじょう}に住む、4人
の子どもたちはいつも元気いっぱい。牛に乗ってふ
り落とされたり、いろんな遊びを考えだしては実行
にうつしたり……。子どもたちの農場^{のうじょう}での素朴^{そぼく}
な生活^{えが}が描かれています。続編に「牛追いの冬」^{ぞくへん}
があります。^{うしお}



ちい
「小さなスプーンおばさん」 小中

アルフ・プリヨイセン 作 ビョールン・ベルイ 絵
大塚勇三 訳（岩波書店）

ある朝、おばさんが目をさますと、体がスプーンく
らいの大きさに縮ちぢんでいました。おばさんの仕事は
山ほどあるのに、小さい体ではとてもこなせそうにあ
りません。しかし、スプーンおばさんは知恵ちえを働はたらか
せて、テキパキと用事をすませていきます。



ちか ほらあな ぼうけん
「地下の洞穴の冒険」 小高・中

リチャード・チャーチ 作 ジョフリー・ウィットム 絵
大塚勇三 訳（岩波書店）

少年ジョンは、偶ぐうぜん然ほらあな洞穴の入り口を発見します。
さっそく、彼は「トマホーククラブ」の仲間たちと、洞どうくつ穴
の探たんけん検にでかけます。これまで経験したことのな
いくら
暗やみの中、少年たちは進んで行きますが……。



「ツバメ号とアマゾン号」小高・中

アーサー・ランサム 作・絵
神宮輝夫 訳（岩波書店）

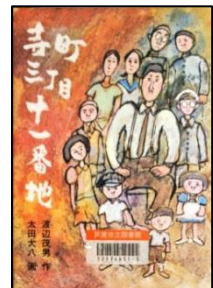
夏休みのある日、ウォーカー家の兄弟ジョン、スーザン、ティティ、ロジャの4人は湖水地方の島でキャンプ生活をはじめます。そこへ、海賊旗をかかげたアマゾン号に乗った女の子達があらわれ……。続編に「ツバメの谷」「長い夏休み」「ツバメ号の伝書バト」「ひみつの海」「スカラブ号の夏休み」「オオバンクラブの無法者」「六人の探偵たち」「ヤマネコ号の冒険」「海へ出るつもりじゃなかった」「女海賊の島」「シロクマ号となぞの鳥」があります。



「寺町三丁目十一番地」小高・中

渡辺茂男 作 大田大八 画（福音館書店）

昭和10年頃、寺町にある福地写真館は、総勢13人の大家族です。子どもたちが寝る時には、便所と洗面所に行列ができ、お風呂に入るとなると、またひと騒動。昭和の大家族の暮らしが、ユーモラスに描かれています。



とき たびひと
「時の旅人」 小高・中

アリソン・アトリー 作 フェイス・ジェイクス 絵
松野正子 訳（岩波書店）

少女ペネロピーは、ある日を境^{さかい}に、時間と空間^こを越えて、16世紀の世界に入りこんでしまいます。彼女は、出入りしていたバビトン家の主人・アントニーと、スコットランドの女王・メアリーをめぐる歴史的^{そうくう}事件に遭遇していきませんが……。



ふね
「とぶ船」 小中・小高

ヒルダ・ルイス 作 ノーラ・ラヴリン 絵
石井桃子 訳（岩波書店）

ある日のこと、ピーターは不思議な店の前を通りかかり、小さな船を見つけ、手に入れます。その船は、自分が行きたいと望^{のぞ}んだところへ飛ぶことのできる魔法^{まほう}の船だったので、ピーターとその兄^{きょうだい}妹^{いもうと}たちが時空をこえて活躍^{かつやく}するファンタジー。



「トム・ソーヤーの冒険」^{ぼうけん} **小中・小高**

マーク・トウェイン 作 T. W. ウィリアムズ 絵
石井桃子 訳（岩波書店）

トムは、ミシシッピ川沿いの小さな村に住むわんぱくな男の子。学校の友だちのジョーや、宿なしのハックを仲間^{やど}に、川の中の島での海賊生活^{かいぞく}を楽しんだり、墓場^{はかば}で殺人事件^{さつじんじけん}を目撃したり、スリルあふれる冒険^{ぼうけん}を重ねていきます。



「トムは真夜中の庭で」^{まよなか にわ} **小高・中**

フィリパ・ピアス 作 スーザン・アインツィヒ 絵
高杉一郎 訳（岩波書店）

知り合いの家にあずけられて、友だちもなく退屈^{たいくつ}しきっていたトムは、真夜中に古時計^{ふるどけい}が13も時を打つのを聞きます。すると、昼間はなかったはずの庭園^{ていえん}があらわれ、ヴィクトリア時代の不思議な少女・ハティと友だちになります。



「ドリトル先生アフリカゆき」小中・小高

ヒュー・ロフティング 作・絵
井伏鱒二 訳（岩波書店）

動物話を覚えたドリトル先生は、人間の医者をやめ、動物の患者ばかりをみながら、プタやアヒルやオウムと家族のように暮らしています。ある日、アフリカからサルの中に疫病が流行するという使いが来ます。ドリトル先生シリーズ」第1作目。



「ハイジ」小中・小高

ヨハンナ・スピリ 作 マルタ・プファネンシュミート 絵
上田真而子 訳（岩波書店）

美しいアルプスの山を舞台に繰り広げられる少女ハイジの物語。おじいさんと二人きりで、山小屋で暮らしていたハイジは、クララという足の悪い少女の遊び相手になるために、フランクフルトのお屋敷に連れていかれますが、山恋しさのあまり病気になるてしまい……。



「ハヤ号^{こう}セイ川^{がわ}をいく」小高

フィリパ・ピアス 作 エドワード・アーディゾーニ 絵
足沢良子 訳（講談社）

ある朝、デビットは庭のそばのセイ川にカヌーが
流れついていることに気づきます。カヌーの持ち主
であるアダムという少年と、デビットは友だちとな
り、こわれたカヌーの修理^{しゅうり}にとりかかります。そ
れから、2人はカヌーに乗って、宝^{たからもの}物^{さが}を探しにで
かけます。



「はるかなるわがラスカル」小高・中

スターリング・ノース 作 亀山龍樹 訳（小学館）

5月のある日、スターリング少年は、森の中で1
匹^このアライグマの仔を見つけます。だんだん^{もよう}模
様のしっぽに、ビーズ玉のような目をしたアライグマ
は、ラスカルと名づけられ、スターリングと一緒^{いっしょ}
に、暮らすこととなります。彼らの1年にわたる生
活^{はく}で育^{ゆう}まれた友^{ゆう}情^{じょう}と愛^{あい}情^{じょう}が、細^{こま}やかに描^{えが}かれ
ています。



こうじいちばんち
「ふくろ小路一番地」 **小高**

イーヴ・ガーネット 作・絵
石井桃子 訳（岩波書店）

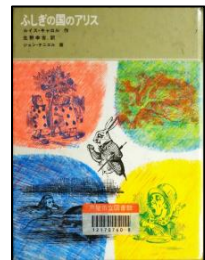
ふくろ小路に住むラッグルズさん一家は、だんな
さんとおかみさん、それに子どもが7人の大家族。
長女のリリー・ローズがお客さまの洗濯物をアイロ
ンで縮ませてしまったり、双子の男の子がギャング
団の仲間入りをしたり……。楽天的な一家で起こる
出来事が、ユーモアたっぷりに描かれています。



くに
「ふしぎの国のアリス」 **小中・小高**

ルイス・キャロル 作 ジョン・テニエル 絵
生野幸吉 訳（福音館書店）

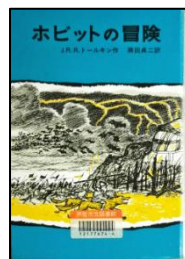
ある暑い昼下がりに、チョッキを着て時計をもつ
たウサギの後を追って、穴の中に飛びこんだアリ
ス。そこで、アリスは、不思議な国の奇妙な人た
ちに巻き込まれていきます。常識を超えた世界で
繰り広げられるファンタジー。



「ホビットのぼうけん」小高・中

J. R. R. トールキン 作 寺島竜一 絵
瀬田貞二 訳（岩波書店）

^{へいおん} 平穩な日々を送っていたホビット族・ビルボの
^{まほう} 前に、魔法使い・ガンダルフが ^{あらわ} 現れ、^{りゅう} 竜に ^{うば} 奪われ
^{たからものだっかん} た宝物奪還の旅に出かけることになります。
^{こんなん} 困難にぶつかるたび、ビルボは ^{ちえ} 知恵や ^{ゆうき} 勇気をふり
しぼり、成長していきます。「指輪物語」の前編
にあたる物語。



◆「指輪物語」◆

^{たび} (旅の ^{なかま} 仲間 ^{とう} 上・下 ^{きかん} 二つの塔 ^{きかん} 上・下 王の帰還 ^{きかん} 上・下)
J. R. R. トールキン 作 瀬田貞二・田中明子 訳（評論社）

^{めいおう} 冥王サウロンによって作られた、強い魔力を持つ ^{まりよく} 指輪 ^{ゆびわ} をビルボから受け継
^{おい} いだ甥のフロドは、^{ゆびわ} 指輪を ^{ほうむ} 永久に葬り去るため、火の山オールドルーインへ
向かいます。^{きけん} 危険な役目を ^{にな} 担ったフロドを、友人のサム、^{まほう} 魔法使いガンダルフ
をはじめ、^{ゆうかん} 勇敢な仲間たちが命をかけて守ります。中原国を舞台にした ^{ぶたい} 壮大な ^{そうだい} 物語。

「ホメーロスのオデュッセイア物語」^{ものがたり} **小高・中**

ホメーロス 原作／バーバラ・レオニ・ピカード 作
ジョン・キデル＝マンロー 絵 高杉一郎 訳（岩波書店）

トロイア^{こうりやくご}攻略後、ギリシア軍の英雄^{えいゆう}オデュッセウスは、故郷^{こきょう}イタケー島を目指して、地中海の青海原^{あおうなばら}に乗り出します。ところが、巨人^{きょじん}や魔物^{まもの}と戦いながら、苦難^{くなん}に満ちた航海^{みこうかい}を続けて10年が経ってしまいます。故郷^{こきょう}では、妻・ペーネロペイアに求婚^{きゅうこん}する貴族^{きゆう}たちが、オデュッセウスの館^{やかた}に居座り、息子のテレマコス^{いすわ}は父さが^{さが}捜しの旅にでます。



「魔法使いのチョコレート・ケーキ」^{まほうつか} **小中・小高**

マーガレット・マーヒー作 シャーリー・ヒューズ 絵
石井桃子 訳（福音館書店）

魔法^{まほう}の腕^{うで}は良くないけれど、とびきり上等のチョコレートケーキ^{まほう}を作ることができる魔法使いは、パーティをひらいて子どもたちを招待^{しょうたい}しましたが、誰もやっ来て^{だれ}ません。そこで、家の裏口^{うらぐち}で見つけたりんごの木を相手^{あいて}にお茶を飲むようになって……。表題作^{ひょうだいさく}に加え、魔法^{まほう}やいきいきとした自然^{しぜん}の姿^{すがた}を身近^{みぢか}に描いた不思議^{えが}なお話^{ふしぎ}と詩^{しゅうろく}が収録されています。



「ムギと王さま」小高・中

エリナー・ファージョン 作 エドワード・アーディソーニ 絵
石井桃子 訳（岩波書店）

むかしばなしふう
昔話風の「ヤング・ケート」「ねんねこはおどる」や、子どもの生活に根ざした「十円ぶん」「ポタンインコ」など、変化に富んだ多彩なお話が、27
へんけいさい
編掲載されています。



「モモ～時間どろぼうとぬすまれた時間を人間に
とりかえてくれた女の子のふしぎな物語～」小高・中

ミヒャエル・エンデ 作・絵 大島かおり 訳（岩波書店）

時間どろぼうが人間の時間をぬすんだために、
人々の心は冷たくすさんでしまいます。小さな女の子「モモ」はぬすまれた時間を取り返すため、時間を
つかさと ふしぎ
を司る不思議な老人の助けをかりて、犯人の「灰色の男たち」に立ち向かいます。



「山のトムさん」小中・小高

石井桃子 作 深沢紅子, 箕田源三郎 絵 (福音館書店)

北国の山中で開墾生活をはじめたトシちゃんの家
に、ネズミ取りのため、雄ネコのトムがもらわれて
きました。なかなかネズミを捕まえてこないトム
に、カエルとりのトレーニングから始まり……。成
長して、家族の一員となっていくトムの様子が、楽
しく描かれています。



「ライオンと魔女」小中・小高

C. S. ルイス 作 ポーリン・ベインズ 絵
瀬田貞二 訳 (岩波書店)

ロンドンから、片田舎にやってきた 4 人兄妹
は、疎開先のお屋敷の中を探検していくうちに、
大きな古いたんすを見つけます。そのたんすは、「ナ
ルニア国」へと続く入り口だったのです。続編に
「カスピアン王子のつるぶえ」「朝びらき丸東の海
へ」「銀のいす」「馬と少年」「魔術師のおい」「さい
ごの戦い」があります。



「ロビン・フッドのゆかいな冒険」^{ぼうけん} 小中・小高

ハワード・パイル 作・絵 村山知義, 村山亜土 訳
(岩波書店)

イギリスのシャーウッドの森に住む、^{えいゆう}英雄・ロ
ビン・フッドとその仲間たちの^{ものがたり}物語。村の人たち
に「^よ楽しき人々」と呼ばれ^{した}親しまれたロビンとその
いっとうが、^{ぐんちょう}ノッチンガムの^{だいきぞく}群長や大貴族、^{えが}金持ち
相手に^く繰り広げる^{ゆかい}愉快な^{ぼうけん}冒険の^{えが}数々が描かれてい
ます。

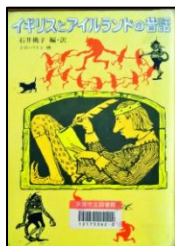


・・・昔話の本・・・

むかしばなし
「イギリスとアイルランドの昔話」**小低・小中**

石井桃子 編・訳 J・D・バトン 画（福音館書店）

おなじみの「三びきの子ブタ」や「ジャックとマ
メの木」^{き ば もの で きょうかいどう したてもの}、化け物の出る 教会堂で仕立物をする
「元気な仕立て屋」^{げんき した や わかもの ちえ じめし}、若者がもちまへの知恵で地主
^{めいじん}さんをやりこめる「どろぼうの名人」など、イギ
リスとアイルランドの昔話^{むかしばなし}が30編入っています。
^{みじか はなし おもしろ はなし}短くて可愛い話、面白い話、ロマンチック
^{はなし はばひろ しゅうろく}な話が幅広く収録されています。



「おそばのくきはなぜあかい」**小低**

石井桃子 文 初山滋 絵（岩波書店）

こくもつ かみさま
穀物の神様をおぶってつめたい冬の川^{ふゆ かわ}をわた
ったために、おそばの足^{あし あか}が赤くなってしまう「お
そばのくきはなぜあかい」のほか、「おししのくび
はなぜあかい」^{べん}「うみのみずはなぜからい」の3編が
^{はい}入っています。



「かぎのない箱」 小中・小高

J・C・ボウマン，M・ピアンコ 文
寺島竜一 絵 瀬田貞二 訳（岩波書店）

おそ 恐ろしい海の神にさらわれた3人の ^{むすめ} 娘の話「ユルマと海の神」や、どこでもない国へ、なんでもないものを ^{さが} 捜しにやられる若者の話「どこでもないなんでもない」など、フィンランドに伝わる昔話が ^{へん} 7編収録されています。どのお話にも神秘的な呪文や魔法が ^{まほう} ふうだんに ^{とうじょう} 登場し、スケールの大きい ^{ふしぎ} 不思議な世界が ^{せかい} ^{えが} 描かれています。



「金のがちょうのほん」 小低・小中

レスリー・ブルック 文・画 瀬田貞二 訳
（福音館書店）

「^{さん}三びきのくま」「^{さん}三びきのこぶた」「^{きん}金のがちょう」「^{おや}親ゆびトム」の4つのイギリスの昔話を、^{さいふ}細部まで ^{うつく}美しく ^{えが}描かれた ^え絵とともに ^{たの}楽しめる ^{えほん}絵本です。



「子どもに語るグリムの昔話 1～6」 小低・小中・小高
佐々梨代子，野村滋 訳（こぐま社）

「^{あか}赤ずきん」や「^{しらゆき}白雪ひめ」など、^{せだい}世代をこえて ^{おお}多くの人に知られているグリムの ^{むかしばなし}昔話が、^{げんぶん}原文に ^{ちゅうじつ}忠実な ^{やく}訳で、^{かん}6巻 ^{へんしゅうろく}64編 ^{へんしゅうろく}収録されています。



せかい
「世界のむかしばなし」 小低・小中

瀬田貞二 訳 太田大八 絵 (学習研究社/のら書店)

せかい かつこく むかしばなし たの え
世界各国のゆかいな昔話が、楽しい絵とともに
へんしゅうろく
に14編収録されています。テンポがいい言葉で
えが たの よ
描かれていて、楽しんで読むことができます。

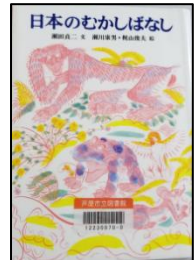
「おばあさんとぶた」「いたずらおばけ」「ねこの
だいおう なし はなし はい
大王」など、おはなしの会でお馴染みのお話も入
っています。



にほん
「日本のむかしばなし」 小低・小中

瀬田貞二 文 梶山俊夫, 瀬川康男 絵 (のら書店)

はな さん
「花さかじい」「ねずみのすもう」「三まいのお
ふだ」など、よく知られた日本の昔話が13編
はい にほん むかしばなし べん
入っています。その土地のこゝろとあつた
さしえ たの よ
挿絵で、楽しく読むことができます。



うま
「まほうの馬」 小低・小中

A. トルストイ, M. プラートフ 文 E・ラチョフ 絵
高杉一郎, 田中泰子 訳 (岩波書店)

ロシアの じんしゅう かた
民衆のあいだで語りつがれてきた
むかしばなし どうぶつものがたり ばなし ちゅうしん
昔話が、動物物語とおとぎ話を中心に、
へんはい うつく え
12編入っています。美しい絵と、リズムカルな
こゝろ ことば こうだい そうしよくゆた
心地よい言葉で、広大で装飾豊かなロシアの
せかい たの
世界を楽しむことができます。



＝昔話の本は他にもいろいろあります＝

- 「カラスだんなのおよめとり」チャールズ・ギラム文 石井桃子訳（岩波書店）
- 「グリムのむかしばなし1・2」ワンダ・ガアグ編 松岡享子訳（のら書店）
- 「グリムの昔話1～3」フェリクス・ホフマン編 大塚勇三訳（福音館書店）
- 「こども世界の民話 上・下」内田莉莎子（他）著（実業之日本社）
- 「子どもに語るアイルランドの昔話」渡辺洋子，茨木啓子編・訳（こぐま社）
- 「子どもに語るアジアの昔話1・2」アジア地域共同出版計画会議企画
松岡享子訳（こぐま社）
- 「子どもに語るイギリスの昔話」J・シェイコブズ再話 松岡享子編・訳（こぐま社）
- 「子どもに語るイタリアの昔話」剣持弘子訳・再話 平田美恵子再話協力（こぐま社）
- 「子どもに語る日本の昔話1～3」稲田和子，筒井悦子再話（こぐま社）
- 「子どもに語る北欧の昔話」福井信子，湯沢朱実編・訳（こぐま社）
- 「三本の金の髪の毛」松岡享子訳（のら書店）
- 「白いりゅう黒いりゅう」賈芝，孫劍冰編 君島久子訳（岩波書店）
- 「千びきのうさぎと牧童」ボラジンスカ文 内田莉莎子訳（岩波書店）
- 「太陽の東 月の西」アスビョルンセン編 佐藤俊彦訳（岩波書店）
- 「チベットのものいう鳥」田海燕編 君島久子訳（岩波書店）
- 「天からふってきたお金」アリス・ケルジー文 岡村和子訳（岩波書店）
- 「トンボソのおひめさま」M. バーボー，M. ホーンヤンスキー文
石井桃子訳（岩波書店）
- 「ネギをうえた人」金素雲編（岩波書店）
- 「みどりの小鳥」イタロ・カルヴィーノ作 河島英昭訳（岩波書店）
- 「ものいうなべ」メリー・C・ハッチ文 渡辺茂男訳（岩波書店）
- 「山の上の火」クーランダー，レスロー文 渡辺茂男訳（岩波書店）
- 「四人のきょうだい」バージニア・ハピランド再話 間崎ルリ子訳（学校図書）
- 「りこうなおきさき」モーゼス・ガスター文 光吉夏弥訳（岩波書店）
- 「ロシアの昔話」内田莉莎子編・訳（福音館書店）
- 「わらしべ長者」木下順二作（岩波書店）

・・・神話の本・・・

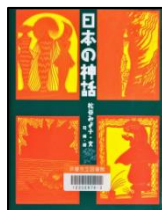
「ギリシア神話」^{しんわ} **小中・小高**
石井桃子 編・訳 富山妙子 画（のら書店）

「プロメテウスの火」「パンドラ」「ミダス王」など、オリュンポス山にすむゼウスをはじめとする神々のお話が22編^{へん}と、ホメーロスの叙事詩^{じょじし}にある「トロイア戦争」の話が、やさしい言葉でわかりやすく再話^{さいわ}されています。神話の入り口として楽しめる一冊^{さつ}です。



「日本の神話」^{にほん しんわ} **小中・小高**
松谷みよ子 文 司修 絵（のら書店）

子ども向けにわかりやすく描^{えが}かれた日本の神話の本です。「国生み^{くにう}」や「ヤマタノオロチ」などの有名なエピソードや、アマテラスやスサノオなどの神様のお話が、19編^{へん}入っています。



「北欧神話」^{ほくおうしんわ} **小高・中**

P. コラム 作 ウィリー・ポガニー 絵
尾崎義 訳（岩波書店）

神の都アースガルド。威厳^{いげん}にみちたオージン、カジマんのツール、いたずら好きのローキ、美しい首飾^{くびかさ}りとひきかえに夫を失った女神フレイヤなど、個性豊かな神々のお話^{えが}が描かれています。



・・・詩の本・・・

「ある子どもの詩の庭で」小低・小中・小高

ロバート・ルイス・ステューヴンソン 詩
イーヴ・ガーネット 絵 間崎ルリ子 訳（瑞雲舎）

たからじま さくしゃ じしん こ じだい おも
「宝島」の作者が、自身の子ども時代に思いを
は 馳せながら、よろこ 喜びや しあわ せな おも 表現した
ししゅう うし 詩集。「め牛」「ブランコ」「海べで」など身近なもの
から、ゆた 豊かに そうぞう 想像を 巡らすことのできる詩が多数
しゅうろく 収録されています。



「A. A. ミルン童謡集 ちいさな ちいさな ときのこと 六つになったよ」
A. A. ミルン 作 E. H. シェパード 絵 小低・小中・小高

山田正巳 訳（中部日本教育文化会）

「くまのプーさん」の作者による、幼い子ども向け
どうようしゅう 童謡集。子どもの目線で、歌うような陽気なリズム
にちじょう 日常を 空想豊かに 物語る詩が掲載されて
います。



「幼い子の詩集パタポン①②」小低・小中・小高

田中和雄 編（童話屋）

まどみちお、たにかわしゅんたろう たけしたゆめし たかむらこうたろう
谷川俊太郎、竹下夢二、高村光太郎
の詩、イギリスをはじめとした がいこく 外国の詩など、子ども
から おとな 大人まで 楽しむ 詩集です。



くじゃく
「孔雀のパイ」 小高・中

ウォルター・デ・ラ・メア 詩 エドワード・アーティゾーニ 絵
間崎ルリ子 訳（瑞雲社）

子どもが主人公の「戸棚」「猛犬」、自然をテーマに静かな情景をうたった「銀」「小さな緑の果樹園」など全部で82編の詩が入っています。



「ことばあそびうた」 小低・小中

谷川俊太郎 作 瀬川康男 絵（福音館書店）

ののはな／はなのののはな／はなのななあに／なすな
なのはな／なもないのばな／など実際に声に出して読む
とさらに楽しい詩の本。版画風の描き文字や挿絵も楽しめます。



えだ
「ライラックの枝のクロウタドリ」 小中・小高・中

ジェイムズ・リーヴズ 作 エドワード・アーティゾーニ 絵
間崎ルリ子 訳（こぐま社）

幽霊が出てくる詩、自然の美しさを身近でうたった詩、
神話をもとにした幻想的な詩、くすっと笑いたくなる人
たちの詩など、胸がはずむような楽しい詩が、美しい挿絵
とともに収録されています。想像力ゆたかな不思議な
世界を体験してみませんか？



・・・自然科学の本・・・

「エヴェレストをめざして」**小高・中**
ジョン・ハント 作 松方三郎 訳（岩波書店）

1953年、^{せかいさいこうほう}世界最高峰の山・エヴェレストの^{ちようじょう}頂上
^{とうたつ}到達に成功した、^{えんせいだい}イギリス遠征隊の記録。^{えんせいだい}遠征隊の
^{じんせん}人選や道具の用意に至るまでの^{いた}入念な準備から、^{にゆうねん}チームで協力して困難な地点を^{こうりやく}攻略し、^{とちよう}登頂を果たすまでの
^{かてい}過程が^{えが}描かれています。



「エンデュアランス号大漂流」**小高・中**
エリザベス・コーディ・キメル 作 千葉茂樹 訳
（あすなろ書房）

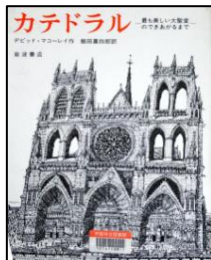
1914年、南極を目指し出発したアーネスト・シャクルトンと隊員たちの探検記録。出港後、まもなくシャクルトン一行は^{いっこう}流氷^{りゅうひょう}に閉じ込められてしまいます。しかし、閉ざされた氷の世界で彼らは希望を失わず、全員が生き延びようとベストを尽くします。



「カテドラル ^{もっと うつく だいせいどう} 最も美しい大聖堂のできあがるまで」 **小高・中**

デビット・マコーレイ 作 飯田喜四郎 訳 (岩波書店)

ヨーロッパの大聖堂はどのようにして建てられたのか、ゴシック建築の黄金時代である13世紀北フランスを舞台に、シエトロ大聖堂建築の様子を詳しいスケッチとともに物語風に解説しています。



「北の森の十二か月 ^{きた もり げつ} スラトコフの自然史」 **小高・中**

ニコライ・スラトコフ 作 ニキータ・チャルーシン 絵
松谷さやか・福井研介 訳 (福音館書店)

ロシア、ペテルブルグ南東に位置するノブゴロドの森の自然観察記。クマ、キツネ、リス、シジュウカラ、ハビ、カエル、コオロギなどの動物たちや、それを取りまく自然の営みが詩のような美しい文章で描かれています。



「星座を見つけよう」 **小低・小中**

H. A. レイ 文・絵 草下英明 訳 (福音館書店)

星座に関する神話や用語の解説のほか、星図やクイズなども載せてあり、星座を見つける方法がわかりやすく書かれています。夜空をみあげて、ひとつひとつの星座を見分けることが出来たら、星がもっと身近な存在になるかもしれません。



「せいめいのれきし」小低・小中

バージニア・リー・バートン 文・絵 石井桃子 訳（岩波書店）

ぎんがけい ちきゅう ほし う げんざい
銀河系に地球という星が生まれてから、現在にい
たるまでの歴史がわかりやすい絵と言葉で語られてい
ます。そのあいだ地球上の生物は、背骨のない小さな生き物～魚類～恐竜～鳥類～哺乳類へと進化していき、そのたびに主役となる生き物も移り変わっていきます。過去、現在、未来にわたる生命の不思議、美しさを描いた絵本です。2015年に改訂版（真鍋真監修）が出ています。



「センス・オブ・ワンダー」小高・中

レイチェル・カーソン 著 上遠恵子 訳
（佑学社／新潮社）

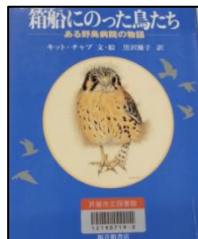
タイトル「センス・オブ・ワンダー」とは、神秘さや美しさに目をみはる感性のこと。著者が甥と過ごした生活のなかで、経験したエピソードを通し、自然と人間がどのように接点を持つことができるのか、多くのヒントをあたえてくれます。



はこぶね とり やちょうびょういん ものがたり
「箱船にのった鳥たち ある野鳥病院の物語」 小高・中

キット・チャブ 作・画 黒澤優子 訳（福音館書店）

「鳥の箱船」とよばれる野鳥病院に運び込まれた鳥との交流を綴った本。交通事故にあったワシミミズク、コールタールまみれになったマガモのひな、意外にせいたい生態の知られていないコンドルなどをほご保護し、自然にかえすまでをユーモラスに描きます。



こんちゅう く
「ファール 昆虫と暮らして」 小高・中

ジャン・アンリ・ファール 作
林達夫 編・訳（岩波書店）

「昆虫記」の著者・アンリ・ファールの幼少時代、小中学校の教師時代の思い出、昆虫研究についてのおもいなど、自伝的な文章が収録されています。好奇心を失わず、虫の生態を観察し続けたファールの人生がいきいきと語られています。



ゆき てん てがみ なかたにうきちろう しゅう
「雪は天からの手紙 中谷宇吉郎のエッセイ集」 中

中谷宇吉郎 著・絵 池内了 編（岩波書店）

なかにうきちろう
物理学者・中谷宇吉郎のエッセイ集。低温実験室で、
雪の結晶の研究に取り組んだエピソードから、他の科
学者たちとの交流や日常の科学について語られたエッ
セイが、21編掲載されています。日常のさりげない
疑問から、実験を重ね、結論を出すまでの過程がてい
ねいに描かれています。科学の面白さに気づかせてく
れる1冊です。

